

# 事業概要と国道254号バイパス道路詳細設計検討会の設置

資料 1



## 1 位置付け

- ・国道254号現道の混雑を緩和
- ・県南西部の幹線道路網の強化
- ・外環和光北ICへのアクセス向上



## 2 計画概要

- 位置：東京外郭環状道路～国道463号  
 延長：6,850m【志木区間 2,570m】  
 幅員：42m～36m【志木区間 42m】  
 車線数：平面4車線(片側2車線)  
 構造物：朝霞大橋、国道463号立体交差橋

### 3 経緯

- 昭和51～55年：都市計画決定  
（高架4車線＋平面4車線を想定）
- 昭和59年度：事業着手
- 平成6年度：第1期整備区間（起点～朝霞蕨線）を定め、重点整備
- 平成19年度：基本構造を「平面4車線」に決定
- 平成20年度：環境緩衝帯整備検討協議会【志木区間】  
（基本的な整備モデル案を作成）
- 平成22年度：第1期整備区間を暫定2車線供用
- 平成24年度：第1期整備区間起点部を4車線化
- 平成25年度：モデル工事【志木区間】が完成
- 平成26年度：朝霞大橋2期線上部工完成
- 平成28年度：東和橋2期線完成  
都市計画変更（平面4車線）  
第2期整備区間の工事に本格着手  
道路詳細設計検討会【志木区間】

### 4 進捗状況(H29.3末見込)

- 用地買収：約92%
- ・第1期整備区間 100%
  - ・第2期整備区間 約88%
- 【志木区間 約92%】
- 工事：・第1期整備区間 約58%  
【暫定2車線（一部4車線化）】
- ・第2期整備区間 約2%
- 【モデル工事のみ】

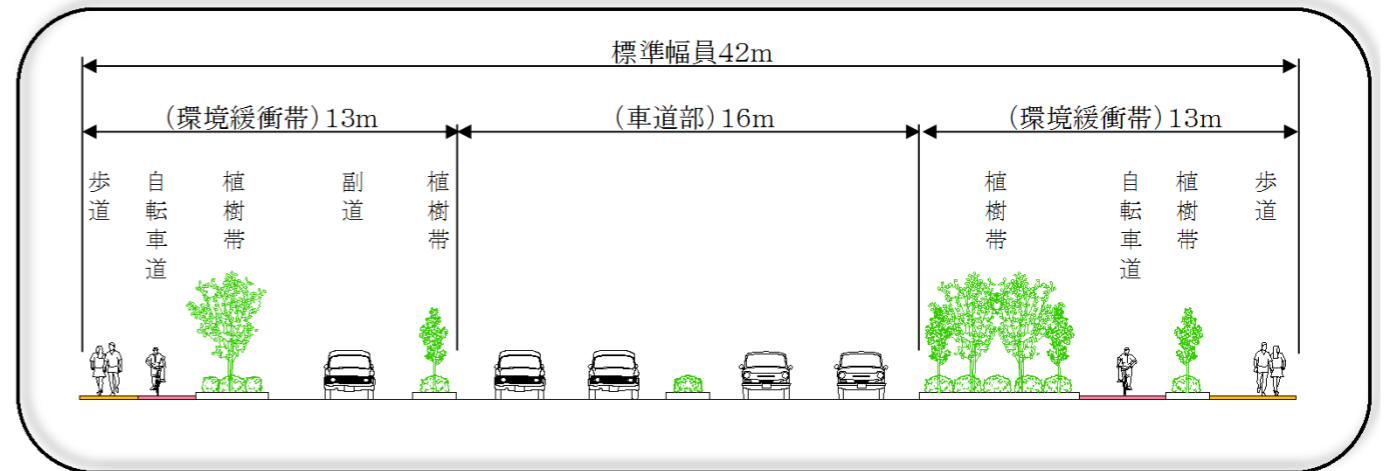
### 5 今後の進め方（第2期整備区間【志木区間含】）

- ・国道463号立体交差橋の下部工に着手
- ・未買収地の用地買収の推進
- ・志木区間の道路詳細設計を確定した後、工事に着手

### 国道254号バイパス環境緩衝帯整備検討協議会（H20）

- 目的  
環境緩衝帯の形態について、基本的な整備モデル案をまとめる。

#### 標準横断面図



#### モデル工事



### 国道254号バイパス道路詳細設計検討会(H28～)

- 目的  
整備モデル案を基に、県が道路詳細設計を進めるにあたり、市民の意見を反映させる。
- スケジュール（予定）  
H29.3～12の間に、3回程度  
検討結果の公表  
ホームページ等で、随時、公表する。  
地元説明会  
市民を対象とした地元説明会を適宜、行う。